

教回新報

A black and white photograph capturing a large lecture hall or conference room. The room is filled with rows of people seated at long, dark wooden tables, all facing towards the front of the room. In the foreground, a man with a receding hairline and glasses is visible from behind, looking towards the front. The room has a high ceiling with a grid of recessed fluorescent lights. In the background, there are several sets of double doors and a small circular clock on the wall. The floor is made of light-colored wood planks.

日本福音ルーテル東京教会を会場に

資金小委員会委員長が、召集後2度（11月28日、2月6日）開催された委員会の報告と提案を行った。

各教区からの申請状況について、14教区から申請があり、未申請が3教区（東中国、九州、沖縄）で、内1教区からは、負担金は納入予定であるとの応答があったことを報告した。また、各教区からの申請一覧を提示し、交付額を提案した。

「申請総額5125万3千円（原資5868万9千円）であり、今回は申請額通りに交付する。原資から交付を引いた、残余743万6千円は、規則8条により、土地取得賃付金として積み立てになるが、年度末の負担金納入状況を見てから執行する」と述べた。

区で確認。③未提出教は、常議員会から申請を勵することを求め、対配慮。④2015年度金納入について、教区金と同様に納入することを求め、納入と交付は常務執行部が行なう。

会館耐

日本キリスト教会館改修工事議案に関する木功男会館問題特別委員会書記が今までの経緯をした。

「日本キリスト教会会理組合は、2014年に2億5千万を限度とする震補強・改修工事を再度一粒粒オーリス事務所に概算見積を依

議員	懇意を 応を 負担	資料として、各教区か が配布された。「伝道交 金」には、主に謝儀互助 とを提案した。
耐震 、鈴 員会 説明	たが、緊急性の高い工事 実施すると2億7965 5200円となる概算日 見書を受けた。	と、貸付方法の検討、内 の検討を常議員会が行う とを提案した。
館管 11月 建築 決	これに応じて会館問題 別委員会は、全面改修を 提としていた5億929 万6447円の概算目論 書と今回の決定の違いを 015年1月にヴァオリア の担当者から聞くなどを	出された「伝道資金申請書

未申請教区へ、付属の団員へ、付託金で負担金を請求することとする。他に未納に持つのは、団員の意見がある。

区の負担についてある以上、納ることが確認され教区なのが教はつきりすべきであった。佐々木

との意見があった。
申請の段階で支援先教会
名を明記できないケースに
ついての問い合わせがあり、佐々
木委員長は「前年度の状況
をわかる範囲で書いていた
だくしかない」と感じた。

度額で、い、認証すれば立をと、いといふ。常意見は、上より雲然が質身もが質管館の会団は貸然後は、改修工議場は、改修工関して、教団負担6千万円を限度にさらに、会館管理4千万円を限度にことを可決した。度額内であれば、員会での決定によれるが、限度額を合は、臨時常議員として審議することれた。

がそろわ
金口座の
を充てる
上で採決
認められ
田恵悟報)
議をした
事費用に
分として
支出し、
組合へは
融資する
また、限
常任常議
つて行わ
超える場
会を開催
も確認さ

第39 総会期 第2回(臨時)

常議員会

定 價 1部144円(本体133円+共206円)
予約購読料 1年分 ￥共 5,150
紙代のみ 3,600
振替 00140-9-1452
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18
一時移転先 169-0072 東京都新宿区大久保 1-7-18
電話 03(3202)0546, FAX 03(3207)3918
URL <http://uccj.org>

発行人 長崎哲夫
編集主筆 渡邊義彦
印刷所 株式会社きかんし

伝道資金交付、会館工事費用支出を決定

常議員選任、東日本大震災救援対策に関する審議され
た。

改定要望書を文化庁に提出したことを報告した。伝道資金に関して、交付申請を14教区から受けた。2月6日の小委員会審査を経て、本常議員会にてすべて申請ごおり交付を決定した。伝道交付金(教区内交付)、伝道方策交付(教区内交付)の申請総額125万3千元。本年度伝道資金5868万9千円の納入が計上されている。残額743万6千円は主に取得貸付金として積み立てられた。

金額会員。地元、会館改修工事費用概算目論見書(14年11月27日付)では、耐震工事費用として2億8千万円が見込まれている。この工事費用に関して、教団負担分の支出(上限6千万円)と会館

として承認、新たに杉森耀子常議員を選任した。既に選出の石橋秀雄議長、佐々木美知夫副議長、雲然俊美書記、長山信夫、高橋和人、藤掛順一、高橋潤、鈴木功男、朝岡瑞子各常議員に加え10名が本期常任常議員と

円を借り入れることを選択した。被災教会への貸しは14年12月末で2億4,000万円、原資に全国募充してきた。全国募金を来年の目的である支援金として用いるため、会堂共合より借り入れて貸付へ

金原 済組 68
金を本をこしと答えた。
意見があり、飯島信救援対策担当幹事は「15、16年度、救援活動のため約3億5千万円の支出を見込んでおり、貸付分を必要とする」と答えた。

管理組合への融資（上限4千万円）を決定した。

東日本大震災救
る。

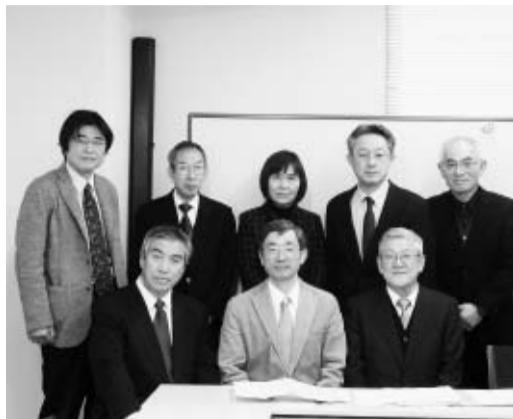
資とすること、返済は貸付
先からの返済金を順次充て

第4816号

(第三種郵便物認可)

▶予算決算委員会◀

連帶金廃止後、初の 財務委員長会議を9月に開催

上段左から、計良幹事、折原、長島、
宇田、遠矢

下段左から、森、長谷川書記、愛澤委員長

第39総会期第1回予算決算委員会が、1月30日に教団B会議室にて行われた。今期委員並びに組織は以下の通りである。委員長・愛澤豊重(松沢)書記・長谷川洋介(石岡記念)、宇田真(岩村田)、折原威男(八王子)ペテル・信徒)、遠矢良男(富士見

町・信徒)、長島恵子(鴨島兄弟)、森研四郎(鎌倉)、財務幹事・計良祐時(常任委員)は委員長と書記が職責上選ばれ、折原委員が互選で選ばれた。

最初に財務幹事より東日本大震災救援対策本部の会計処理について、海外から

の献金3億7千万円と国内の献金9億3千万円(12月末)の処理は支障なく行われたとの報告がなされた。また第39回教団総会報告書にある予算決算委員会としての「次期委員会への申し送り事項」を全員で確認した。合わせて第38回と39回教団総会開会式中に行われた財務審査委員会の報告を確認した。

今回の委員会で扱われた主な内容は以下の通り。
①2014年度第一次補正予算に関する件 経常会計では、事務局のアサヒニーシティール(新宿区大久保)への一時移転費用支出、特別会計の内外協力資金会計、ドイツ関係費会計、過年度未収金処理などで、高額の補正を行う必要を確

定した。また、森、長谷川書記、愛澤委員長は、予算決算委員会としてもこれについて協議を行った。

(長谷川洋介報)



教団会議室に教区、支区代表集う

14年度運用益、計画額を上回る

第39総会期第1回年金局理事会が、1月23日、教団会議室で開催され、教区代表理事、東京教区支区代表を含め27名が出席した。理事長には召集者の斎藤安晴理事が推薦され、満場一致で再選された。常任理事には池田浩二(川原正彦)、木下宣世、長崎哲夫(総幹事)、中林克彦の各理事が選任された。また、池田常任理事が書記に、中林常任理事が制度検討諮問委員長に選任され、川原常任理事が資産運用諮問委員長に選任された。

資産運用に関しては以下

の報告がなされた。①2014年度の資産運用益は計

6000万円程度が見込まれる。②運用環境の好転と

保有有価証券の内容改善の

通り。①給付と掛け金の差

が最大となる時点は前回の

検証より約4年延び2011年頃となる。②謝恩日献

金、隠退教師を支える百円

献金等の献金と資産運用益

を現状通り統ければ、今後

10年間は積立金の取崩しは

起きない。③実質過去勤務

債務は約41億円である。

各教区代表理事からは謝

恩日献金の現況と取り組み

について報告があった。1

月末の謝恩日献金は332

3万円であり目標額の3割

である。全理事・支区代表

が教団年金に対する熱い思

いを共有し、年度末までの

2ヶ月間、まだ献金がない

教会に呼びかけることを確

認し、半日の理事会を終えた。

(斎藤安晴・櫻井淳子報)

上段左より、北、岡本、望月
下段左より、井田書記、佐々木委員長

教団将来構想検討委員会 催した。招集者である佐々木美知夫副議長は、ヨエル書3章1～5節を朗説し祈

祷をしたのち、ただちに組織会を宣言した。意見交換を経て、委員長に佐々木副議長を、書記に井田昌之常議員を選出した。委員構成は、常議員会で定められた北紀吉常議員、岡本知之常議員、望月克仁常議員と上記2名を合わせた計5名。

この委員会に与えられた使命は、(1)日本基督教団のこれまでの歩みを振り返り、これからあるべき姿を描き出すために必要な資料の調査、整理に関する事項、(2)伝道推進のために必要な教団組織及び制度の整備に関する事項、(3)日本伝

道推進のために日本基督教団のはたすべき使命ならびに、他教団・キリスト教関係諸団体との関係に関する

トゥーリーの課題は、どれをとっても教団の将来を大きく左右する大きな課題であり、将来の教団がその使命を果たすことができるよう

いる。

これらの課題は、どれをとっても教団の将来を大き

く左

右

する

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

年以上先の教団のあり方に

を果たすことができるよう

いる。

これら

の準備の提言をする

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

年以上先の教団のあり方に

を果たすことができるよう

いる。

これら

の準備の提言をする

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

年以上先の教団のあり方に

を果たすことができるよう

いる。

これら

の準備の提言をする

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

年以上先の教団のあり方に

を果たすことができるよう

いる。

これら

の準備の提言をする

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

年以上先の教団のあり方に

を果たすことができるよう

いる。

これら

の準備の提言をする

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

年以上先の教団のあり方に

を果たすことができるよう

いる。

これら

の準備の提言をする

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

年以上先の教団のあり方に

を果たすことができるよう

いる。

これら

の準備の提言をする

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

年以上先の教団のあり方に

を果たすことができるよう

いる。

これら

の準備の提言をする

こと

だ

と各委員は共通認識

をもつた。

委員長は、議事進行にあたって、まず自由討論をす

ることの重要性を説き、委員会をリードし、活発な意

見交換がおこなわれた。10

(3)

2015年3月7日

教 团 新 報

(第三種郵便物認可)

第4816号

北米諸教会訪問記



カナダ合同教会本部にて、左から、長崎哲夫総幹事、キム・ビヨンホ在日大韓基督教教会総幹事、ノラ・サンダースカナダ合同教会総幹事、ベ・テジン PROK 総幹事

宣教幹事は、1月25日～2月7日、旧JNAC（日本北米宣教協力会）に関わった北米諸教団を、・スー幹事から1月29、30日にニューヨークに開催の「アジア・太平洋」オーラム」への参加を強く勧められたことであつた。2004年のJNAC解散以後、PCUSA（アメリカ合衆国長老教会）、RCA（アメリカ改革派教会）と北米諸教団が加わり、お互いの教会の紹介と課題を共有した。

長崎哲夫総幹事と加藤誠世界宣教幹事は、1月25日～2月7日、米国CGMB共同世界宣教局東京事務所にて開催された。JNACの代わりに、東日本大震災後の献金の御礼とキリスト教主義学校への宣教師（教育）派遣依頼を行うこととが訪問の主目的であった。最初の訪問先はトロントにあるUCC Canada（カナダ合同教会）の本部であった。カナダ長老教会代表者と在日大韓基督教教会の金炳鎬（キム・ビョンホ）総幹事と許伯基（ホ・ベック）幹事が加わり、お互いの教会の紹介と課題を共有した。

2月1日の聖日はニューヨークは生憎の大雪の二日目にはクリーブランドに水曜日にはクリーブランドに

具体的には2016年7月26日から米国で大規模なユースミーティング（14～18歳）が開催される予定であり、教団からは10名の青年を派遣するよう要請された。

15年1月27日逝去、77歳。宮城県に生まれる。62年に東京神学大学大学院を卒業、同年より金沢、木更津、武蔵野、所沢、三芳、桜新町教会を経て08年に隠退。遺族は夫・中山弘隆さん。

丹羽清治氏（隠退教師）

15年1月28日逝去、82歳。東京都に生まれる。59年に受允、65年に受接、59年より青山学院、世田谷中原、水道教会を経て98年に隠退。遺族は妻・丹羽百代さん。

（加藤 誠報）



上段左から、鈴木、米倉、井ノ川、高橋、成田
下段左から、高橋書記、佐々木委員長、木下

この制度は、各教区に全教会収入額の0.5パーセントを教区現住陪餐会員数の比率による賦課した伝道資金負担金を、それぞれの教区からの申請に基づいて、①各教区への伝道活動と小規模教会援助を行う伝道交付金、②各教区の伝道方策に用いる伝道方策交付金、③土地取得のための貸付資

2月2日～3日、大阪クリスチャンセンター2階会議室において、今総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は26名。運営委員長には東谷誠（大阪）さんが信任され、平井克也運営委員が

2月2日～3日、大阪クリスチャンセンター2階会議室において、今総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は26名。運営委員長には東谷誠（大阪）さんが信任され、平井克也運営委員が

38総会期活動委員会が開催された。活動委員選任では、岡本拓也前活動委員長より、第38総会期活動委員会決議は協議ののち、任期を延長された。各報告、各教区報告など様々な取り組みについての報告、2015年度予

2月2日～3日、大阪クリスチャンセンター2階会議室において、今総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は26名。運営委員長には東谷誠（大阪）さんが信任され、平井克也運営委員が

38総会期活動委員会が開催された。活動委員選任では、岡本拓也前活動委員長より、第38総会期活動委員会決議は協議ののち、任期を延長された。各報告、各教区報告など様々な取り組みについての報告、2015年度予

2月2日～3日、大阪クリスチャンセンター2階会議室において、今総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は26名。運営委員長には東谷誠（大阪）さんが信任され、平井克也運営委員が

38総会期活動委員会が開催された。活動委員選任では、岡本拓也前活動委員長より、第38総会期活動委員会決議は協議ののち、任期を延長された。各報告、各教区報告など様々な取り組みについての報告、2015年度予

39総会期、委員会を組織

▼部落解放センター運営委員会

（高橋和人報）

第39回教団総会において、伝道資金設立に関する件が可決成立し、常議員会が組織された。委員は、佐々木美知夫（委員長・教団副議長）、高橋和人（書記・常議員）、鈴木功男（常議員）、高橋潤（常議員）、邑原宗男（奥羽教区議長）、木下宣世（東京教区議長）、成田いうし（伝道委員会）、米倉義佐男（宣教委員会）。

この制度は、各教区に全教会収入額の0.5パーセントを教区現住陪餐会員数の比率による賦課した伝道資金負担金を、それぞれの教区からの申請に基づいて、①各教区への伝道活動と小規模教会援助を行う伝道交付金、②各教区の伝道方策に用いる伝道方策交付金、③土地取得のための貸付資

2月2日～3日、大阪クリスチャンセンター2階会議室において、今総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は26名。運営委員長には東谷誠（大阪）さんが信任され、平井克也運営委員が

38総会期活動委員会が開催された。活動委員選任では、岡本拓也前活動委員長より、第38総会期活動委員会決議は協議ののち、任期を延長された。各報告、各教区報告など様々な取り組みについての報告、2015年度予

2月2日～3日、大阪クリスチャンセンター2階会議室において、今総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は26名。運営委員長には東谷誠（大阪）さんが信任され、平井克也運営委員が

14教区申請を審査、常議員会に提案

▼伝道資金小委員会▲

のものに伝道資金小委員会が組織された。委員は、佐々木美知夫（委員長・教団副議長）、高橋和人（書記・常議員）、鈴木功男（常議員）、高橋潤（常議員）、邑原宗男（奥羽教区議長）、木下宣世（東京教区議長）、成田いうし（伝道委員会）、米倉義佐男（宣教委員会）。

この制度は、各教区に全教会収入額の0.5パーセントを教区現住陪餐会員数の比率による賦課した伝道資金負担金を、それぞれの教区からの申請に基づいて、①各教区への伝道活動と小規模教会援助を行う伝道交付金、②各教区の伝道方策に用いる伝道方策交付金、③土地取得のための貸付資

2月2日～3日、大阪クリスチャンセンター2階会議室において、今総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は26名。運営委員長には東谷誠（大阪）さんが信任され、平井克也運営委員が

38総会期活動委員会が開催された。活動委員選任では、岡本拓也前活動委員長より、第38総会期活動委員会決議は協議ののち、任期を延長された。各報告、各教区報告など様々な取り組みについての報告、2015年度予

2月2日～3日、大阪クリスチャンセンター2階会議室において、今総会期第1回部落解放センター運営委員会が開催された。出席者は26名。運営委員長には東谷誠（大阪）さんが信任され、平井克也運営委員が

38総会期活動委員会が開催された。活動委員選任では、岡本拓也前活動委員長より、第38総会期活動委員会決議は協議ののち、任期を延長された。各報告、

